

第3学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

平成29年12月5日(火)
指導者 深瀬 里美

1 単元名 「つなぐ未来へ！～行徳海苔の魅力を広めよう～」

2 単元の目標
学習活動企画書 2. に記載のため省略

3 単元の評価規準
学習活動企画書 6. に記載のため省略

4 本時の指導(1/25)

- (1) 目標
- 「行徳産の海苔」を実際に味わい、他の産地の海苔と比較する。
《探究する力》
 - 「行徳産の海苔」についての発見や疑問を整理する。《探究する力》

(2) 展開

時配	主な活動(○)と内容(●)	支援(◎)と評価(☆)
	○前時の活動を想起する。 ○本時の学習のめあてを知る。	◎地域の方にインタビューした写真を提示する。
	◎「行徳ののり」を食べて、のりについて発見したことや見つけた「？」を話し合おう。	
	○「行徳産の海苔」を試食する。 ●韓国産、有明産、行徳産の3種類の海苔を食べ比べる ●見た目、香り、味など様々な観点で比べる	◎味だけではなく、様々な視点から比較するよう助言する。 ☆「行徳産の海苔」を実際に味わい、他の産地の海苔と比較する。《探究する力》

○発見したことや疑問に思ったことを付箋に書き出す。 ●赤の付箋→発見したこと ●青の付箋→疑問に思ったこと	◎付箋の色を分けて書かせることで、発見だけでなく、今後の課題につながる疑問も考えられるようにする。
○5～6人組で、KJ法で発見したことや疑問をまとめていく。 ●同じ内容の付箋は一か所に集めてマジックで囲み、題名をつける	◎児童だけでKJ法を行うのは初めてなので、やり方を一斉指導し、その後机間巡視し、支援していく。 ☆「行徳産の海苔」についての発見や疑問を整理する。 《探究する力》
○次時の活動の見通しをもつ。 ●各グループがまとめた発見や疑問を見合い、今後の活動計画を立てることを知る。	◎出来るだけ児童自身で次時の課題を設定できるように、児童の発言をつなげるなど、教師先導にならないようにする。

(3) 板書計画

◎「行徳ののり」を食べて、のりについて発見したことや見つけた「？」を話し合おう。	○グループ
写真	KJ法の手本
海苔のパッケージ	次回の◎ みんなの発見や「？」を見合って、調べたいことを決めよう。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">韓国産</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有明産</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行徳産</div> </div>	
くらべること	
①見た目	
②かおり	
③あじ	
④手ざわり	

第3学年2組 総合的な学習の時間 学習指導案

平成30年1月23日(火)

指導者 門倉 直己

1 単元名 「つなぐ未来へ！～行徳海苔の魅力を広めよう～」

2 単元について

(1) 単元観

私たちの食卓に欠かせない海苔だが、その歴史は江戸時代に遡る。千葉県では、1821年に、近江屋甚兵衛によって海苔作りが始められ、今も行徳の地域にその伝統が残る。「行徳海苔」は、味や香りがとても良いことで有名で、スーパーマーケットではなく、わざわざ行徳地区の海苔屋にその味を求めて海苔を買いに来る客もいるほどだ。

平成28年の調査では、日本全体で約71億枚の海苔を生産していた。千葉県全体で見ると、約7億枚と全国第2位の生産量を誇っている。しかし、この行徳地区では、冬場に収穫するという過酷な労働条件と、後継者不足という深刻な状況から、全国生産量の1%未満の生産量に留まっている。行徳駅近くに海苔屋を構える加藤海苔屋の店長も、海苔屋、漁師、漁業組合が力を合わせないと地域の伝統である「行徳海苔」が廃れていってしまうと危惧している。

今では見られなくなったが、海苔を干している家庭が昔の行徳では当たり前のようにあったそうだ。また、現在、市川市に残る海苔工場は4件しかなくなってしまった。そのことなどからも海苔作りが衰退したことがうかがえる。しかし、この行徳地区には、市内に残る4件のうち、3件もの海苔工場が今でも残っている。市川漁港から海苔を採り、この行徳の海苔工場で製品化しているのだ。中には、最新の機械を取り入れ、より効率的に海苔作りを行っている工場もある。

「行徳海苔」の味や香りなどの魅力、行徳地区に残る海苔工場、近くに広がる東京湾などの環境面から見ても、この「行徳海苔」を題材にする意味があると考えられる。

(2) 児童の実態【男子18名 女子16名 計34名】

①学習材について

今回の学習材である「海苔」に関して、どの程度の知識、認識、関わりがあるのかについて、実態調査を行った。

(H29.12.20 男子18名 女子16名 計34人に実施)

1 行徳でのりが有名なことを知っていますか？	はい10人 いいえ24人
2 行徳でとれたのりを食べたことはありますか？	はい5人 いいえ29人
3 ふだん食べているのりは、どこでとれたか知っていますか？ →どこでとれたのりですか？	はい5人 いいえ29人 韓国3人、有明2人、千葉県1人
4 のりについて知っていることを書きましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・海藻をとって焼く ・人口が増えて、暮らすために食料が必要だから海苔が作られた。 ・海苔は海で採れる ・昔からある ・焼かないでパリパリしていないご飯に乗せて食べる海苔もある ・海藻によって色や形、味が違う ・海藻なので、いつかなくなる ・網で採る ・色々な種類(産地)がある ・裏と表があり、手触りが違う ・行徳の海苔は寺などで売っているところもある ・今年の水揚げはもう始まっている ・無回答…20人

実態調査の結果から、児童の半数以上が行徳で海苔が有名だということを知らないことがわかった。また、行徳海苔を食べたことがない、普段家庭で食べている海苔がどこ産なのかを知らない児童がほとんどだということから、「行徳海苔」が広く一般家庭に知れ渡っているとは言えない状況だ。海苔好きの人は海苔屋に足を運び購入するが、一般の家庭においては、スーパーマーケットで売っている安い海苔を購入していることと推測できる。海苔屋でしか購入できず、値段が高いことが「行徳海苔」が知れ渡っていない一因だろう。

海苔について知っていることを見ても、海苔は海で採れる海藻だということや、今年の水揚げはもう始まっていること、網で採ることなど海苔についてかなり詳しく知っている児童が数名いることがわかる。しかし、大半の児童は何も知らないと答えたことから、海苔の採り方や作り方を知識としてしっかりと押さえておく必要性を感じる。

②児童の資質・能力について

前期のテーマである「祭り」の学習で、児童は主に課題発見力、探求する力を身に付けてきた。言い換えれば、総合的な学習の学び方を知り、主体的に学ぶ姿勢が育ってきたといえる。その成果として、たくさんの疑問を持つことが当たり前できるようになった。また、出てきた疑問を整理・分析する必要性も児童から自然と感じられるようになった。探究するにあたって、地域のプロに聞けば詳しく知ることができるという思考も、児童の中に当然のように浮き出るようになった。人とかかわりを大切にした学習を設定した成果と言えよう。

しかし、課題発見力に関してはまだまだ自分たちの力だけで課題を発見したとは言いきれず、題材に触れる段階からどの児童も主体性、必然性を持って学習に取り組んでいたとは言えない。そこで、「行徳海苔」をテーマにした後期の学習では、児童が地域や社会に飛び出し、行徳に住む人々の声を聴いたり、校内調査を行ったりする中で、自ら課題を設定していけるよう、学習の仕掛けや流れを設定する必要性を感じた。

(3) 指導観

児童は、行徳で海苔作りが有名な事実をほとんど知らない。スーパーマーケットで売っている海苔との食べ比べという共通体験から、「行徳海苔」はおいしいということを感じた。また、海苔の作り方や産地、おいしさの秘密などの疑問をたくさん持たせ、出てきた疑問を学級で整理・分析することを通し、まずは自分たちが行徳海苔について詳しくなる必要があると感じさせたい。社会科と関連させ、副読本や映像資料の活用、地域の方の話を聞くなどの体験を通し、「行徳海苔」の作り方を知ったり、魅力に気付かせたりしたい。

その後は、各家庭での「行徳海苔」に関する簡単なアンケートを行い、おいしい「行徳海苔」であるのに、あまり知れ渡っていないという事実をつかませ、地域に飛び出す必然性を感じさせたい。地域での実態調査をすることで、「行徳海苔」が地域の人に知れ渡っていないという事実はより濃いものになるだろう。

また、生海苔を観察したり、海苔漉き体験をしたりすることで、海苔そのものについての知識を深めるだけでなく、海苔屋や海苔工場の方から話を伺い、生産・販売をする方々の思いを肌で感じることで、やりがいだけではやっていけない生産者・販売者の苦勞などにも触れさせたい。

おいしいのに知っている人が少ないこと、生産者の思いという2つの側面から「行徳海苔」の魅力を家庭・地域に広める活動につなげ、自分たちができることを必死に考える姿を期待したい。課題設定が児童にとってより身近で切実なものになれば、主体的に取り組むことはもちろん、地域の宝である「行徳海苔」をこれからも残していきたいという気持ちを育てることにつながるだろう。

3 単元の目標

学習活動企画書 2. に記載のため省略

4 単元の評価規準

学習活動企画書 5. に記載のため省略

5 活動計画（25時間扱い）

次	時配	主な学習活動（○）と内容（・）	支援（◎）と評価（☆）
1	1	○「祭り」の他にも行徳で有名な物 は何かを考える。 （予想される児童の反応） ・塩 ・神社 ・寺 ・そんなにわからない	◎「祭り」から考えを広げること で、地域の学習をしていること を意識させる。 ◎行徳っ子守り隊の方に有名な物 をインタビューしに行かせるこ とで、説得力を持たせる。 ☆地域で有名な「行徳海苔」をこ れから調べていこうとする気持 ちを持つことができる。 《課題発見力》
	3 + 社会	○行徳産の海苔について知る。 ①行徳海苔、有明海苔、韓国海苔の 食べ比べをし、味の違いを感じ る。 【調べる観点】 ・味、香り、見た目、手触りなど ○食べ比べをふり返り、課題を設定 する。	◎食べ比べをすることで、行徳海 苔の良さを感じさせる。 ◎食べるだけでなく、見たり、嗅 いだり、触ったりするなど、五 感を刺激することで、より興味 を持つようにさせる。 ◎全員で疑問に思ったことをグル ーピングすることで、課題を設 定しやすくする。
			☆食べ比べをすることで、「行徳海 苔」を題材とした本単元の学習 の見通しを持つことができる。 《課題発見力》

行徳のりについてくわしくなろう！

(本時)	<p>②「行徳海苔」について調べる。 ・副読本、パンフレット、DVD、活用し、作り方を調べる。 (社会)</p> <p>③生海苔を見て、わかったこと、考えたことをまとめる。 【見る観点】 ・香り、形、色など</p>	<p>◎社会科と関連させ、海苔作りの概要を知る。 ◎DVDを観て、イメージを持たせる。 ◎海苔の作り方を知ることを通し、海苔の旬を押させる。 ☆海苔作りについての情報を集めることができる。 《探究する力》</p> <p>◎生海苔と製品化された海苔を比較させ、見た目のギャップを感じることで作り方に目を向けさせる。 ☆生海苔を観察し、海苔についての自分の考えを深めることができる。 《探究する力》</p>
	課外	<p>◎海苔漉き体験をしよう。 ・海苔漉き体験を通し、その苦労に気付くとともに、自分で作った海苔を家の人に食べてもらい、そのおいしさを知ってもらう。</p> <p>◎海苔の作り方で、学び切れなかった内容を、体験を通して深める。 ☆楽しみながら、地域の人とかわることができる。 《かかわる力》</p>
1	<p>◎海苔の生産者や販売者の話を聞き、行徳海苔についての思いや課題をつかむ。</p> <p>◎海苔の魅力だけでなく、抱える課題にも触れていただくことを事前に打ち合わせする。 ☆海苔の生産者や販売者の話を聞き、行徳海苔についての思いや課題をつかむことができる。 《課題発見力》</p>	
課外 十算数	<p>◎アンケートを取る。 →「お家の海苔は、行徳海苔？」</p> <p>◎いつも食べている海苔が「行徳海苔」でない家庭が多いことに気付かせ、これからの活動につなげる。</p>	

4	<p>◎街頭アンケートを取る。 ①アンケートの計画を立てる。 ②アンケートの準備をする。 ③アンケートをしに行く。 ④結果をまとめ、分析する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">アンケート</p> <p>① 「行徳海苔」を知っていますか？</p> <p>② 「行徳海苔」を食べたことがありますか？</p> </div>	<p>◎家庭ではあまり「行徳海苔」が食べられていないことに気づき、「地域の人はどうなのだろう？」という考えに発展させる。 ◎インタビューの仕方を国語科と関連し、身に付ける。 ◎結果を分析することで、新たな課題を見つけさせる。 ☆アンケートの結果から、「行徳海苔」が抱える課題を発見することができる。《課題発見力》</p>
	1	<p>◎これまでの活動から「行徳海苔」が抱える課題を考えよう。</p> <p>◎今までの活動を写真や掲示物を見て想起させ、課題を考えられるようにする。 ☆行徳海苔が抱える課題を考えることができる。《課題発見力》</p>
2	<p>◎考えた課題から、自分たちにできることを考えよう。 (予想される児童の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家に人に知ってもらいたい。 ・地域の人に広めたい。 <p style="text-align: center;">そのために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで海苔を作ってみたい。 ・パンフレットを作って、地域の掲示板に貼りたい。 ・妙典駅前宣伝したい。 ・放送で知ってもらいたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">おいしいおいしい行徳のりの、み力を広めよう！</p> </div>	<p>◎課題をどうしたいかを考えさせてから、自分たちができることにつなげることで、児童の考えを整理しやすくする。 ◎今までの活動や、国語科と関連させることで、できることを考えやすくさせる。 ☆課題に対する自分の思いを持ち、自分たちにできることを具体的に考えることができる。 《探究する力》</p>

12	<p>○家の人に知ってもらおうプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食便りの裏面に掲載してもらい、全家庭に配布する。 <p>○地域の人に知ってもらおうプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットを作って、駅や海苔屋、市役所などに配付する。 ポスターを作り、地域の掲示板に貼る。 	<p>◎アンケートの結果を想起し、「行徳海苔」の魅力を広める活動を具体的に考える。</p> <p>◎地域に宣伝するには、どこにパンフレットを配付すれば良いのかを考えさせる。</p> <p>◎教師が事前にアポイントを取ることで、児童の活動を円滑に行えるようにする。</p> <p>◎児童自身が連絡し、許可をもらう活動を設定し、主体的に取り組めるようにする。</p> <p>☆自分たちで考えた活動をし、行徳海苔の良さを広めることができる。 《実現する力》</p>
国語科	○お世話になった方にお礼の手紙を書こう。	◎手紙の基本的な書き方を知り、手紙が書けるようにする。
2	○これまでの学習をふり返ろう。	<p>◎国語科と関連させ、心に残ったことを中心に書けるようにする。</p> <p>☆自分の活動をふり返り、作文を書くことができる。 《表現する力》</p>

6 本時の指導（4/25）

（1）目標

○生海苔を観察し、焼き海苔と比較することでこれからの学習の課題を見つけることができる。
《課題発見力》

（2）展開

時配	主な活動（○）と内容（・）	支援（◎）と評価（☆）
2	○今までの学習を振り返り、海苔の作り方を想起する。	○掲示物を見ながら、今までの活動を振り返る。
3	○学習問題を立てる。	◎クイズ形式で生海苔を提示する。 ◎行徳産の焼きのりも用意し、焼き海苔と比較するという思考につなげる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 生のりをかんさつして、やきのりとの違いを見つけよう。 </div>		
5	○生海苔を観察する。 【観察する観点】 ・見た目、香り、色、手触りなど 【予想される児童の反応】 ・見た目…わかめみたい。細長い。ドロドロしていて気持ち悪い。 ・香り……くさい。海・塩の匂いが強い。 ・色……真っ黒。ちょっと赤が混じっている。 ・手触り…ヌメヌメする。ドロドロ。	◎本時は、観察なので食べないことを伝える。 ◎児童のありのままの反応を知るため、ワークシートではなく、つぶやきや発言で学習を進める。 ◎予め透明なカップに入れ、スムーズに観察できるようにする。 ◎焼き海苔との違いを出させるため、焼き海苔も配付する。
15	○焼き海苔と比較してわかったことを発表し、表にまとめる。	◎観点ごとに生海苔と焼きのりの特徴を比較し、視覚的にわかるように黒板に整理する。
7	○表から、生海苔と焼き海苔を比較し、気づいたことを発表する。 【予想される児童の反応】 ・生海苔が焼き海苔になると、いろいろな変化がある。 ・生海苔の方が匂いが強く、海の匂いが	◎ただ単に気付いたことではなく、「比較して」という言葉を入れることにより、その変化に気付きやすくさせる。 ◎児童の意見から、生海苔に手を加える（加工させる）と焼きのりに

	<p>ギュッと詰まっているのが、焼き海苔だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 焼き海苔になると色が緑っぽくなる。 • (見た目から) 生海苔がギュって押しつぶされると焼き海苔になるんだ。 	<p>なるという関係性を押さえさせる。</p> <p>◎関係性がわかるように、矢印を使い、板書する。</p>
5	○どのようにして焼き海苔になるのか予想を立てる。	◎次時への活動につなげるため、ここでは自由に加工の過程を予想させる。
3	○次時の課題を考える。	◎児童の言葉で、次時の活動を設定する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 生のりがやきのりになるまでに、どんなことをするのか調べよう。 </div>		
5	<p>○活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークシートに本時の活動を振り返りを書き、これからの活動の意欲につなげる。 	<p>☆生海苔を観察し、焼き海苔と比較することでこれからの学習の課題を見つけることができる。</p> <p style="text-align: center;">《課題発見力》</p> <p>◎ワークシートに記録を残すことで、児童の考えを掌握しやすくする。</p>

7 板書計画

◎生のりをかんさつしてやきのりとのちがいをを見つけよう。

<生のり>	→	<やきのり>
① 香り……海の香り。塩の香り。	→	海の香り。塩の香り。
② 見た目…海藻の形。グネグネ。	→	四角い。平べったい。
③ 色……黒っぽい。	→	茶色がまじった黒。
④ 手触り…ヌメヌメ。	→	ザラザラ。

加工

生のりがやきのりになる！

◎生のりがやきのりになるまでに、どんなことをするのか調べよう。

第3学年 学習活動企画書

1. 単元名「つながれ未来へ！～行徳海苔の魅力を広めよう～」

2. 単元の目標

- 地域の特産品である「行徳海苔」について、自分の舌で味わったり、海苔作りに携わる人々に話を聞いたりするなどの体験的な活動を通し、海苔の生産地や作り方、抱える課題など、地域の産業について理解を深める。
- 見出した課題の解決に向け、必要な情報を収集したり、情報を課題に沿って整理・分析したり、目的に応じて表現したりする力を身に付ける。
- 願いの実現に向け、他者と協働的に取り組む態度や、自分たちの住む町の良さを継承していこうという態度を養う。

3. 児童の実態

「GOチャレって楽しい！」「お祭り大好き！」

前期の「わっしょい！～つなげる和、つながる未来～」では、地域の伝統文化である「祭り」を学習材として学ぶ中で、本学年から始まった「GOチャレ」の学び方を知った。①「？（はてな）」を持つ。②人から学んで？を解決する。③わかったことをまとめる。という学びを繰り返す中で、主体的に学び、「祭り」が大好きな児童が増えた。また、地域の人と関わったり、わかったことをまとめたりする活動の中で、自分の思いや考えを素直に表現できるようになった。

町が抱える課題にも目を向けて・・・

前期の学習では、「祭り」という行事の裏側に潜む、「担ぎ手の不足」「認知度の低さ」という課題に気付かせるまで至らなかった。発達段階を考えれば、「地域が大好き」と言える児童が育ったことで十分な成果と言えるかもしれないが、自分も地域の一人として地域の課題に向き合うことも必要なのではないだろうか。

4. 期待する児童像【学年目標】

SUN!

キラキラ発見☆

学習や生活の中から、「？（はてな）」を見つけ、最後までとことん解決しようという態度と能力を育てる。

ほかほかハート♡

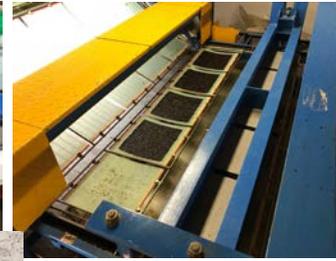
友だちの良さに気付いたり、苦手を認めあげたり、相手を思いやる心を育てる。

元気ハツラツ！

外遊びを楽しんだり、運動に慣れ親しんだり、自分の体の調子に気を配り、健康な体を育てる。

5. 教師の思いや願い・手立て

- まずは前期の学習同様、地域の特産品である「行徳海苔」について誇りを持ち、「自慢したい」という思いを育てたい。そのために、自分の舌で味わったり、海苔作りに携わる人々に話を聞いたりするなどの体験的な活動を取り入れ、その良さに直に触れさせたい。
- 前期の学習からステップアップさせ、児童に地域の課題と向き合わせたい。そのために、街頭アンケートや生産者へのインタビューなど、生の声を知る活動を取り入れ、認知度の低さや後継者不足という課題を見出せるようにする。
- 一人一人の児童がより主体的に学習に臨んでほしい。そのために、「行徳産の海苔」を広める活動を設定し、一人一人が活躍できる場を用意し、役割を持たせるようにする。



7. 単元活動計画(総時数25時間)

第1次「地域の特産品！行徳海苔を知ろう！」(10時間)

- ・祭り以外で行徳で有名な物って何だろう？(1)
- ・行徳海苔について知ろう(3+社会)
 - 【内容】生産地、味、作り方、消費数、値段、
 - 【方法】GT、試食、DVD、副読本、パンフレット、工場見学
- ・行徳海苔についてもっと詳しく知ろう(生海苔の観察)
- ・自分の手で海苔を作ってみよう(海苔漉き体験)
- ・生産者や販売者の声を聞こう(1)
- ・お家の海苔の産地や地域での販売状況を調べよう(課外+算数)
- ・認知度を調べよう「行徳海苔を知っていますか？」(4)
 - 【方法】街頭アンケート

第2次「おいしいおいしい行徳海苔の魅力を広めよう！」(15時間)

- ・考えた課題から、自分たちに行うことを考えよう(1)
- ・「行徳海苔」の魅力を広めようプロジェクト！(12)
 - 【目で見てもらって広めよう】
 - ・給食便りの裏面に掲載してもらい全家庭に配付しよう
 - ・海苔屋や駅、市役所などに置かせてもらおう
 - ・地域の掲示板に貼ってもらおう など
 - ・お世話になった方にお礼の手紙を書こう。(国語)
 - ・これまでの学習をふり返ろう。(2)

6. 単元の評価規準

課題発見力

体験したことの中から、知りたいことや不思議に思ったことなど、疑問や課題を見つけることができる。

探究する力

身近な人々に直接話を聞いたり、手紙などで質問したりし、疑問や課題を解決することができる。

表現する力

自分の考えをはっきりと伝えられ、調べたこと・発見したことを自分なりの方法で表現したり、目的に合わせて表したりできる。

かかわる力

身の回りの人やものに進んでかかわったり、相手の立場や気持ちを考え、協力して活動したりできる。

実現する力

自分の思いや願いを、実現することができる。

学校行事・他教科との関連

しらべよう市の人たちの仕事(社会)

海苔の生産地や作り方、生産の状況について知る。

インタビューをしよう(国語)

インタビューをする時の順序やメモの作り方を知る。

本で調べよう(国語)

図鑑などの本を使って調べた場合の記録の取り方や、調べる方法を知る。

表とグラフ(算数)

家庭で食べている海苔の産地を棒グラフに表す。

海苔漉き体験

昔の海苔作りの方法を体験し、海苔作りについての理解を深める。

話し合ってみみんなの考えをまとめよう(国語)

いろいろな手紙を書こう(国語)

手紙の基本的な書き方を知る。

中心場面を明らかにして書こう(国語)

心に残ったことを中心に書く方法を知る。

平成29年度 第3学年 年間指導計画 【実践プラン】

担任：深瀬里美・門倉直己・関口詠里加・米田晴香・大塚尚子

期	前期																		後期																																																												
	4月			5月				6月			7月		9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																																																
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																																							
理科	しげんのかんさつをしよう(5) 植物をそだてよう(1)たねまき(5)			こん虫をそだてよう(10)				植物をそだてよう(2) 葉・くき・根(2)			ゴムや風でものをうごかそう(7)		植物をそだてよう(3) 花(2)			動物のすみかを調べよう(5)			植物をそだてよう(4) 花が咲いたあと(4)			太陽のうごきと地面のようすをしらべよう(10)			太陽の光をしらべよう(6)			ものの重さをしらべよう(6)			豆電球にあかりをつけよう(8)			じしゃくのふしぎをしらべよう(8)			おもちゃショーを開こう(2)																																										
算数	九九の表とかけ算(6)			わり算(12)				円と球(7)			わくわく算数(1)		かくれた数(1)(2)			たし算とひき算の筆算(13)			買えませんが買えますか(1)			たし算ひき算(4)			一億までの数(10)			自由研究			時間と長さ(9)			あまりのあるわり算(8)			かくれた数はいくつ(2)			三角形(6)			何倍でしょう(2)			計算のじゅんじょ(1)			1けたをかけるかけ算の筆算(14)			重さ(8)			分数(10)			べつべつにいっしょに(3)			計算のきまり(1)			表とグラフ(8)		小数(9)			2けたをかけるかけ算の筆算(7)			口を使った式(4)			そろばん(2)			もうすぐ4年生	
社会	さあ、社会科の学習をはじめよう(1)			わたしたちの学校のまわり(13)				わたしたちの市のようす(10)			梨作り農家の仕事(14)			昔をたずねて(17)			のり作りの仕事(1)			店の仕事(14)																																																											
国語	かえるのびよん「聞きとりクイズ」をしよう(4)			白い花びら(9) 「発見ノート」を作ろう(4)				国語辞典の引き方(2)			めだか(9) 本で調べよう(4)		生き物のとくちようをくらべてかこう(10)			俳句に親しむ(5) たからものをしようかいしよう(6)			気持ちを伝える話し方・聞き方(4)			のらねこ(8)			いろいろな手紙をかこう(6)			調べたことをほうこうしよう(11)			わすれられないおくりもの(9)			ローマ字(5)			くらしと絵文字(7)			はっしつしたことを詩にかこう(6)			話し合ってみんなの考えをまとめよう(9)			モチモチの木(8)			「おすすめ図書カード」を活用しよう(9)			ことわざ・慣用語(4)			夕日がせなかをあしめる(2)			町の行事について調べよう(8)			どちらが生たまごでしょう(7)			強く心に残ったことを書こう(8)			おにたのぼうし(11)												
総合	わっしょい！～つなげる和、つながる未来～(45)																		つなぐ未来へ！行徳海苔の魅力を広めよう！(25)																																																												
図工	絵の具と水のハーモニー			自分の顔を描こう				カラフルねんどのお店へようこそ			長い紙、つくって		ようこそ、キラキラの世界へ			光と色のファンタジー			だんだんだんボール			みんなでオン・ステージ			こんにちは、ふわふわさん			ふしぎな乗り物			のこぎりひいて、ザク、ザク、ザク			でこぼこもようのなかまたち			ひみつのへんしんショー			くつしたやてぶくろにまほうをかけると			タイヤをつけて出発進行																																				
音楽	明るい歌声をひびかせよう(8) 春の小川 茶つみ			リコーダーと なかよしになろう(9) とどけようこのゆめを				拍のながれにのってリズムをかんじとろう(6) ゆかいな木くん うさぎ			日本の音楽に 親しもう(4) 神田囃子			せんりつのとくちようを かんじとろう(9) ふじ山 あの雲のように 山のポルカ			いろいろな音のひびきを かんじとろう(9) パフ			音を合わせて 楽しもう(7) エーデルワイス																																																											
体育	体づくり運動(4)			走・跳の運動遊びかけっこ・リレー(6)				新体力テスト(6)			体づくり運動(2)		浮く・泳ぐ運動 浮く運動・泳ぐ運動(10)			器械運動 鉄棒運動(6)			走・跳の運動 小型ハードル走(6)			ゲーム ベースボール型ゲーム(5)			ゲーム ゴール型ゲーム(5)			走・跳の運動 幅跳び(4)			毎日の生活と健康(2)			体づくり運動																																													
道徳	4-(2) 勤労			1-(3) 正義・勇気				2-(2) 思いやり			4-(1) 規則の尊重・公德心		4-(3) 家族愛			4-(4) 愛校心			3-(2) 自然愛と動植物愛護			2-(1) 礼儀			1-(1) 自立・思慮・節制			1-(5) 真理の尊重と創意工夫			2-(4) 尊敬・感謝																																																
学活	どうぞよろしくの会をしよう 係を決めよう なかよし集会をしよう 友達をたくさん作ろう			みんなで作ろうO組のマーク 気持ちよい挨拶をしよう 図書館のきまりを守って本をたくさん読もう				学級文庫の本を増やそう 歯みがきをきちんとしよう 雨の日を楽しく過ごそう 手をきれいに洗おう			お楽しみ会の相談をしよう 夏休みの計画をしっかり立てよう 夏の遊びを楽しもう			夏休みの発表会をしよう 係活動を工夫しよう 行徳っ子まつりに参加しよう			目を大切にしよう 安全に避難しよう			秋のスポーツ大会をしよう 読書集会をしよう 自分の役目をやり遂げよう 本の分類を知り、読みたい本を探			年忘れお楽しみ会をしよう 風邪を予防する食べ物を食べよう			今年をめあてを決めよう 係活動を工夫しよう			長なわ集会をしよう 感謝の心を表そう 1年間を振り返ろう			がんばった係に賞をあげよう 3年生、さよなら会をしよう 学校や教室をきれいにしよう																																															
行事	始業式 入学式準備			全校歩き遠足				新体力テスト オープンスクール			音楽集會		行徳っ子まつり 社会科見学			前期修了 運動會			読書週間 オープンスクール			芸術鑑賞會			もちつき			長なわ集會			6年生を送る會 卒業式 修了式																																																

第4学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

平成29年12月13日(水)

指導者 若山 勇輝

1 単元名 行徳の「塩」のなぞ ～チャレンジ塩づくり～

2 単元について

(1) 単元観

行徳地区は、古くは戦国時代から昭和時代まで「塩づくり」が盛んな地域であった。学区を含む行徳地域の土地名には、塩浜、塩焼、本塩など塩づくりや塩の流通に困んだものが多く残されている。子どもたちにとって慣れ親しんだ土地名だが、「塩」という視点をもって土地名を見ない限り、その関連性にはなかなか気づかないであろう。改めて「塩」という視点で見ると、海沿いの地域ならではの特色に気が付くことができる。

市川市歴史博物館に「行徳の塩づくり」についての常設展示があるように、かつては全国的にも有名な塩の産地であったが、現在はその面影も残っていない。塩田があった行徳の浜は埋め立てによって消滅し、住宅、工場が建てられ、わずかに干潟を残すのみとなっているなど、景観の急激な変容があったためであろう。古くからこの地域に住む住民を除けば、児童はもちろん地域住民の多くが「昔、このあたりに塩田があった」ということは想像しづらいものと考えられる。

(2) 児童の実態【男子19名 女子17名 計36名】

①学習材について

行徳の塩についてどの程度の知識、認識があるのか、実態調査を行った。

(H29.12.5実施)

1. あなたは、「行徳の塩」について何か知っていますか。	知っている 13名 知らない 23名
2. 「行徳の塩」について知っていることを教えてください。 (1. で「知っている」と答えた人のみ回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・キッコーマンの醤油を作るときに使われていた。(6名) ・昔は海だったので塩がとれた。(3名) ・江戸に売っていた。(2名) ・昔から盛んだった。(2名)

	<ul style="list-style-type: none"> ・始めは塩づくりをしていたが、できなくなり、海苔に変わった。(1名)
3. 塩の作り方を知っていますか。	知っている 9名 知らない 27名
4. 塩はどんなことに使うものですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・味付け、調味に使うもの(24名) ・置き塩(2名) ・塩分(栄養)として摂る(2名) ・相撲、葬式、など(1名) ・醤油を作るとき(10名)

「行徳の塩」について知っていることがある児童は13名と学級の3分の1程度だった。既知の内容については、かつてキッコーマンの醤油づくりに使われていたことが一番多く、次いで地理的条件から塩業が盛んであったことなどが挙げられた。これは、今年度、醤油工場見学で「行徳の塩が使われていた」という情報を得られたこと、また、昨年度の市内見学で市立博物館を訪れた経験によるものが大きいと考えられる。

しかし、「行徳の塩」と言われて、塩づくりが行われていたイメージをもっている児童は5名程度と少数であり昨年度の市内見学での学習があっても、「行徳が塩の町であった」という認識はかなり薄いと考えられる。

塩の作り方については、知っている児童が9名と少なく、口頭による調査では、「海水を干して作る」という回答が多かったことから、テレビ番組等で見ていた情報を頼りにしている可能性もある。いずれも製塩方法について詳しく知る児童はいなかったことから、塩のつくり方を調べる活動や自分たちで塩を作る活動に高い意欲を示す可能性がある。

塩の使い道については、ほとんどが「調味」に関する回答であった。身近な使い道から離れた塩の利用法を提示することで、児童が塩に強く関心をもつきっかけとなるだろう。また、儀式的な利用、産業での利用、栄養としての利用の視点を持っていく児童が少数ながら存在することから、彼らを生かした授業展開も望まれる。

②児童の資質・能力について

男女共に明るく、積極的に挙手する児童が多いが、引っ込み思案で意見があっても発表できない児童も数名いる。また、自分の考えを持つこと、それを表現することが苦手で、課題を見出したり、体験の感想を述べたりする活動に強い苦手意識をもつ児童が2名、外国からの編入でまだ日本語の理解力に不足のある児童が1名在籍している。そのため、発言が一部の児童に集中し、授

業への参加意識の差が大きい傾向にある。

前期から11月にかけて、市川市が政策として取り組んでいる「ガーデニングシティ市川」に準えて、「花いっぱい、笑顔いっぱい、行徳小学校」をテーマにガーデニングによるまちづくりの学習を進めてきた。本学級の児童は、地域の方々や保護者、下学年の児童を対象に「オープンガーデン」（育てた花や花壇を観覧しながら交流を深めるイベント）を行った。計画の段階から様々なアイデアが出てきたり、分担した役割をまたいで協力して準備を進めたりするなど、総合的な学習で自分たちの考えが形になっていくことに楽しさを感じ、主体的に活動している児童が多い。また、ガーデニングについての学習を通して、集めた情報や直接聞いた話、体験したことなどをもとに自ら課題を設定する力は育ってきている。

本単元の学習を始めるにあたり、児童の資質・能力について児童自身による自己評価を行った。

学級の平均値の変化は以下の通りである。（最大値4、最小値0）

	6月	12月	増減
課題発見力	2.9	3.3	+0.3
探究する力	2.8	3.3	+0.5
表現する力	2.9	3.4	+0.4
かかわる力	3.0	3.5	+0.5
実現する力	3.1	3.5	+0.3

以上のように、児童の資質・能力については全体的に伸びが見られる。中でも、探究する力、かかわる力については一定の成果が見られる。一方で課題発見力や実現する力にはまだ課題がある。そのため、探究する力やかかわる力についてはその質をさらに高め、課題発見力や実現する力については徐々に改善をしていく。

(3) 指導観（研究の重点との関わり）

本単元では、社会科見学で得た「醤油づくりに行徳の塩が使われていた」という情報をきっかけに、行徳の塩づくりに関心を抱かせ、行徳の塩づくりの歴史や昔ながらの製塩方法、塩のさまざまな利用について探究していく学習を通して、次の目標を達成したいと考える。

- ①塩と自らの生活との関連について考え、塩の大切さや価値を実感する。
- ②塩は海の恵みであり、私たちの生活は海に支えられていることに気付く。

以上の目標を達成し、児童に「海を大切にしよう」という気持ちを育むことが海洋教育として取り組む、本単元の最終的な目的である。

学習材の特性と児童の実態を踏まえ、第1次では、「行徳の塩づくり」への興味・関心を高めるため、市川市歴史博物館の職員の方をゲストティーチャーに迎え、「行徳の歴史」や「昔の塩づくり」に関する知識や当時の製塩従事者の「思い」を知る学習を展開する。直接話を聞くことで「もっと知りたい」「詳しく調べたい」と自ら課題設定ができると考える。また、前期のオープンガーデンで身につけた「探究する力」「表現する力」をより高めるため、様々なゲストティーチャーからテーマ別に話を聞き、自分でまとめていく活動を行っていききたい。

単元の後半では、児童は塩と自分たちの生活との関連性に気付き、塩の重要性、ひいては塩を生み出す海の重要性を再認識するよう、それまでの学習の知識をつなぐ場を設定する。そして、単元のまとめに「海を大切にしよう」という積極的な態度が育成できていることを目指す。

また、研究の重点については、以下のような手立てを考えた。

児童が主体的に取り組む「アクティブ・ラーニング」の実現

①児童が本気で取り組みたくなる仕掛け作り

本単元では、仕掛けとして「塩を身近に感じる体験」を設ける。

一つ目に、「身近な土地名が塩に関連していることに気が付く」機会を用意する。当たり前目に目にしていた情報から有機的な関連を発見することで、子どもたちは強く興味を持つであろう。

二つ目に、「自分たちの手で、海水から塩をつくる」という体験活動を行う。昔ながらの方法を知るだけでなく、やってみることでさらに探究をしたくなるはずである。

これらの仕掛けをもとに「なぜ、行徳で塩づくりが盛んだっただろうか」という学習課題のもと、児童の「行徳の塩についてもっと詳しく知りたい」という思いを高めていきたい。

②相互交流の場の設定

前期までに行ってきた、学級全体での活動の振り返りを一段階高度なものにしたい。そのために、第三次において、それまでの学習の「知」を結びつけることを目的に相互交流をする「知をつなぐ場」を設定する。みんなで整理、集約、考察する中で「自分たちにとって海は欠かせないものである」という思いが自然に湧いてくるよう、導いていく。

3 単元の目標

学習活動企画書 2. に記載のため省略

4 単元の評価規準

学習活動企画書 5. に記載のため省略

5 活動計画（第1次 14時間扱い）

次	時配	主な学習活動（○）と内容（・）	支援（◎）と評価（☆）
1	課外（社会）	○野田の醤油づくりにかつて、行徳の塩が使われていたことを知る。 ・「今も塩をつくっているのか」を地域の方に聞きとり調査をする。 →今は塩づくりをやっていない。	◎守り隊の方に事前に話しておき、子どもたちが聞きに行けるようにする。 ☆行徳の塩づくりに興味を持ち、調べようとしている。 《関・意・態》（社会） ☆疑問について自分で聞きに行くことができる。《かかわる力》
	1	○「行徳の塩はどこで、どうやって作っていたのだろう」という学習課題を立てる。 ・身近な塩の利用から塩に興味をもつ。 ・現代の日本の塩づくりについて知り、過去と比べることで違いに気付く。 ・行徳地区の地図を読み、「塩」という文字が多いことに気付く。 ・「行徳は塩づくりが盛んであった」ということを知る。 ・どのような作り方をしたのかを調べる計画を立てる。	◎塩の効果を視覚、味覚など複数の視点で実感できる資料を提示する。 ◎日本の塩づくりに対する関心を高め、「塩」という文字が土地名に多くあることに気付かせる。 ☆今後の学習への意欲を高め、学びたいことを見つけようとしている。《課題発見力》

	1	○ゲストティーチャー（市川市歴史博物館の方）から話を聞く。 ・市川市の昔の塩づくり（入浜式塩田・笹取法）について話を聞き、人々の手で、時間と手間をかけて海水から塩をつくっていたことを知る。 ・写真資料や当時の地図から学区のすぐ近くがかつて塩田であったことを実感する。	◎行徳の塩づくりの特徴がわかるよう、様子のわかる写真や道具など具体物を用いて話していただく。 ☆ゲストティーチャーの話を聞き、疑問を解決したり、新たな発見に気付いたりする。《探究する力》
	1	○ゲストティーチャーの話をふりかえり、課題を明確にする。 ・自分たちも行徳の塩についてもっと詳しくなりたい。 ・昔のように海水から塩をつくってみたい！ ・どうして行徳で塩づくりがさかんだったのかな。	◎塩の作り方に関心が向くように助言する。 ◎児童の発言を四切画用紙に記録し、学級ポートフォリオとして残せるようにする。 ☆発見したことを自分なりの方法で表現できる。《表現する力》 ☆新たな疑問や不思議を見つけることができる。《課題発見力》
2	2	○海水から塩をつくる。（HONDA 環境ワゴン出前授業） ・体の中での塩の働き、工業的な塩の利用について知る。 ・大量の海水から少量の塩しか取れないことに気付く。 注）18%の海洋深層水をつかっているため、それなりの量が取れるが、昔はもっと塩分濃度が低く、ごみや不純物が混じった海水から作っていたため、体験以上に手間がかかっていたことを押さえておく。	◎児童の既習の内容を十分に共有し、新たな発見や環境保全につながる気づきのある授業展開を依頼する。 ◎事前に前時の振り返りを行い、ゲストティーチャーから教わった「煮詰める製塩方法」の続きであることを意識させる。 ☆ゲストティーチャーの話を聞き、疑問を解決したり、新たな発見に気付いたりする。 《探究する力》

1	<p>○塩づくりを通してわかったことや考えたことをふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩は食べる以外にも使われている たくさんの海水から少しの塩しか取れない。 <p>○「なぜ、塩づくりが盛んに行われたのだろうか」という疑問を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 行徳で塩づくりが盛んになった理由を予想し、自分の考えを書く。《地理的条件、塩の価値、流通》 たしかめる方法を計画する。 	<p>◎児童の発言を四切画用紙に記録し、学級ポートフォリオとして残せるようにする。</p> <p>◎予想にこれまで学習したことが生かされるようにポートフォリオを参照させる。</p> <p>☆課題に対する考えを自分なりの言葉で表現できる。</p> <p>《表現する力》</p>
	<p>○行徳の歴史をよく知る歴史家さんから、行徳で塩づくりが盛んになった背景を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> お金の代わりに税として納められた塩の話（貴重だった塩の話） 塩づくりにかかわった人たちの話（水呑百姓・出稼ぎ労働・塩田づくりの人手不足など） 塩によって発展した行徳周辺の産業（味噌・醤油など）について 	<p>◎事前に児童の既習内容を十分に共有し、子どもたちに知らせたい観点を絞った授業展開を依頼する。</p> <p>◎聞いた話の要点が記録に残せるワークシートを用意する。</p> <p>☆ゲストティーチャーの話を聞き、疑問を解決したり、新たな発見に気付いたりする。</p> <p>《探究する力》</p>
	<p>○塩の健康上、栄養上の価値について知る。（生きるための塩）</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩が自分たちにとって必要か不要かの話し合いをする。 養護教諭から人の体に塩が欠かせないことをくわしく学ぶ。 塩分を取りすぎると健康に害があることを知る。 	<p>◎事前に児童の既習内容を十分に共有し、子どもたちに知らせたい観点を絞った授業展開を依頼する。</p> <p>◎聞いた話の要点が記録に残せるワークシートを用意する。</p> <p>☆ゲストティーチャーの話を聞き、疑問を解決したり、新たな発見に気付いたりする。</p> <p>《探究する力》</p>

2	2	<p>○生活を豊かにする「塩の使い道」について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べ学習 絵本『塩のちから』を用いる。 調理、食品加工の塩の利用 工業用の塩の利用 <p>○調べてわかったこと、考えたことを友達と共有する。</p>	<p>◎『塩のちから』から、塩の利用法に関するページのみを抜粋し、児童が書き込めるようなワークシートにする。</p> <p>◎「塩があるとどんないいことがあるか」を自分なりの言葉で書けるように声掛けをする。</p> <p>☆塩の利用法について興味をもち、資料から「塩の良いところ」を見つけ出すことができる。</p> <p>《探究する力》</p>
	1	<p>○塩はどこから来ているのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食塩の産地を調べる。 「世界塩マップ」を見て、世界の塩について知る。 世界の塩（岩塩や天日塩）との違いから、日本では海からしか塩を得られないことに気付く。 『塩のちから』を読み、日本に適した塩づくりの方法であることを知る。 	<p>◎事前に自宅の塩やスーパーで売られている食塩の産地を調べさせ、関心を高めておく。</p> <p>◎日本の塩と外国の塩の種類の違いが分かるように色や記号を工夫した資料を提示する。</p> <p>◎実物で比べさせる（岩塩と天日塩と煮詰めた塩）</p> <p>☆日本の塩づくりの特長について自分なりの方法で表現することができる。《表現する力》</p>
3	1	<p>○これまで学習したことをつなげて自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩は私たちに欠かせないもので、塩がなければ暮らせない。 日本の塩のほとんどは「海」だから、これからもきれいな海を大事にしていきたい。 	<p>◎ポートフォリオをふりかえり、学習のつながりが意識できるようにする。</p> <p>◎話し合いの場でウェビングを用いて、つながりを視覚化する。</p> <p>☆塩や海と自分たちの生活について関連付け、自分なりの言葉で表現することができる。</p> <p>《表現する力》</p>

2	○学習したことを「塩新聞」にまとめる。 ・塩や海についての「自分の考え」を記事のどこかに必ず入れて書く。	◎記事の中に海や塩についての「自分の考え」がかけられるように、前時の記述を活用させる。 ◎各記事の見出しが決まったら、全体で共有し、記事の柱を立てられない児童の道しるべにする。 ☆学習全体で深まった自分の考えを新聞の中で表現することができる。
---	---	---

6 本時の指導（1/14）

（1）目標

○今後の学習への意欲を高め、行徳の塩について学びたいことを見つけようとしている。

《課題発見力》

（2）展開

時配	主な活動（○）と内容（・）	支援（◎）と評価（☆）
5	○食塩なしのだし汁（A）と食塩入りのだし汁（B）の味比べをする。 ・Bの方がおいしい。 ・Aは味がうすい。 ・塩が入っているかも。	◎自由な感想を言わせてから、何が入っているのかを考えさせる。 ◎全員が参加意識を持てるよう、答えやすい質問を重ねて拳手がしやすい雰囲気をつくる。
3	○感想を話し合い、塩入りと塩なしのおいしさの違いを共有する。	◎答えやすい質問は、列指名で発言回数を確保する。
7	○塩の活用方法について知っていることを話し合う。 ・しょうゆづくりに使われているよ。 ・飲み物に入っているらしいよ。 ・塩漬けにすると長持ちするって聞いたことあるよ。 ○資料①を見て、塩が調味料以外の用途で	◎意見が出ない時は、3人班や6人班で話し合わせ、塩が使われていた場面を想起させる。
		◎児童の興味を引くよう、情報

	使われていることを知る。	は小出しにしながら提示する。
3	○感想（初めて知ったこと・驚いたこと）をワークシートに書く。	◎ワークシート配付
5	○感想を発表して、共有する。 ・塩が食品以外にも使われていることに驚いた。 ・ティッシュペーパーなど生活に必要なものの材料になっている。 ・洋服を作るのになんで塩が必要なの？ ・実は、塩のほとんどは工業用に使われている。 ・家でみんなが使っている塩は全体の3%だけ。	◎児童の発言を四切画用紙に記録し、学級ポートフォリオとして残せるようにする。
3	○行徳地域と塩づくりの関連がわかる資料からわかったことを発表する。 ・「高谷」「行徳」って文字が書いてあった！ ・近くで塩をつくっていた証拠だね。	◎資料②の提示（TV画面）
7	○行徳と塩との関係について知っていることを出し合う。 ・キッコーマンの醤油づくりに「行徳の塩」が使われていたって勉強したよ。 ・行徳の辺りも塩づくりをしていたと聞いたことがあるよ。 ・「塩浜」「塩焼」「本塩」とか塩がついた名前の場所が多いのは関係があるんじゃないかな。 ・でも、今はつくってないって聞いたよ。	◎児童の発言を四切画用紙に記録し、学級ポートフォリオとして残せるようにする。 ◎3人班や6人班で話し合わせ、情報を共有し、塩と行徳の関連について考えが深まるようにする。
7	○《もっと知りたいこと・疑問》をワークシートに書き、発表する。 ・行徳にも大きな工場があったのかな。 ・どんなふうに作っていたのかな。	◎書けていない児童には、机間指導で個別に支援する。

<ul style="list-style-type: none"> • どうして行徳で塩をつくっていたのかな。 <p>5 ○これから学んでいきたいことをワークシートに書き、全体で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どこでつくっていたのか。 • 行徳の塩の作り方。 • 行徳で塩が作られた理由。 • 塩のいろんな使い道。 	<p>◎全体で探究する大きな課題と個別に追究する課題の両方が持てるようにする。</p>
<p>🎓 「行徳の塩」についてもっとくわしくなろう</p>	

資料②-1



塩づくりの様子
「高谷」という文字

資料②-2



「行徳」に塩問屋が立ち並ぶ様子

資料②-3



「塩」の文字が多い。

(3) 板書計画

AのだしとBのだしのちがい → Bには、塩が入っている

- 塩入りの方がおいしい。(物をおいしくする力)

<p>資料① 塩の使い道</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 塩浜, 塩焼, 本塩 →塩に関係している →塩づくりをしている →今は作っていない。 • 醤油づくりに使われた。 • 塩づくりから海苔づくりに変わっていった。 	<p>もっと知りたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 行徳にも大きな工場があったのか。 • • •
<p>🎓 行徳の塩について、もっとくわしくなろう。</p>		

2. 単元名「行徳の「塩」のなぞ～チャレンジ塩づくり～」

2. 単元の目標

- 「行徳の塩づくり」に関心をもち、塩づくりの歴史や塩の価値を様々な観点から知る学習を通して、生活における塩の重要性に気付くことで、塩を与えてくれる海を身近に感じられるようにし、海洋環境を大切にできる態度を育てる。
- 「行徳の塩」について知りたいことや調べてみたいことを友だちと協同的に学びながら課題解決に必要な力を身につける。



3. 児童の実態

5 学級 178名の明るく素直な子どもたちである。3 年時より学級編成は同じであるが、担任の持ち上がりは 1 クラスだけである。前期から「花いっぱい、笑顔いっぱい 行徳小学校」をテーマに学校環境の整備、地域への発信に意欲的に取り組んできた。11月にオープンガーデンも終え、児童の総合的な学習への意識は前期に比べ高まっている。

しかしながら、普段の言動はというと、幼く甘いところがある。指示されたことはできるが、自ら考えて行動するまでに至らない。また、考えを練り合い、深める体験は不足しており、話し合いのスキルが未熟である。

4. 期待する児童像【学年目標】

チャレンジ～仲間のためにもう一步～

自立

- ・自分で考えて行動する

協力

- ・仲間と協力して何かを成し遂げる

挑戦

- ・自分で考えて行動する

5. 教師の思いや願い・手立て

- ひとりひとりが行徳小の一員としての意識をもって取り組むために、他教科と関連させ、子どもの興味・関心の高い事柄をきっかけに調べ学習に取り組ませる。
- 積極的に地域の方へのインタビューや専門家のゲストティーチャーの活用を行うことにより、意欲的に学習に取り組ませたい。
- 他の人の願いや考えを理解し、受け入れることができるようになるために、ゲストティーチャーなど他者の話を聞き、考えを深める。
- 協同的に学ぶことで、友だちと学ぶことの楽しさや良さ、友だちの大切さに気づいて欲しい。そのためにグループ活動を取り入れる。
- 体験活動や魅力的な資料を提示し、児童の活動意欲を継続させる。

6. 単元活動計画(総時数14時間)

第1部「行徳の塩づくり」は、どこで、どうやって行われたのだろう？ (3時間)

- ・行徳でも塩が作られていた！？日本の塩づくり(1)
- ・行徳の塩づくりについて博物館の方に聞いてみよう(1)
- ・話を聞いて、わかったこと、浮かんだ考えを話し合い、課題設定をしよう(1)

第2部 なぜ、行徳で塩づくりが盛んだっただのか？ (8時間)

- ・海水から塩を煮詰めて作る(2)
- ・活動をふりかえて課題を明確にする(1)
- ・行徳の歴史家さんに、塩づくりにかかわった人の話を聞こう(1)
- ・命にかかわる塩の話「栄養・健康上の塩」(1)
- ・いろいろな塩の使い道を調べよう(2)
- ・塩はどこから来るのだろうか？(1)

第3部 塩とわたしたち、海とわたしたち (3時間)

- ・学習をふりかえて、考えをまとめよう(1)
- ・自分の考えを「塩新聞」に書き表そう(2)

ここでつきたい力(評価規準)

課題発見力

体験したことの中から、知りたいことや不思議に思ったことなど、？(はてな)を見つけることができる。

探究する力

身近な人々に直接話を聞いたり、手紙などで質問したりしながら、？(はてな)を解決することができる。

表現する力

調べたことや発見したことを自分なりの方法で表現したり、目的に合わせて表したりできる。

かかわる力

身の回りの人やものに進んでかかわり、相手の立場や気持ちを考え、協力して活動できる。

実現する力

学んだことを自分の生活に生かすことができる。

学校行事・他教科との関連

調べよう わたしたちのすむ県(社会)

野田のしょうゆづくりの学習を通して、行徳の塩が使われていたことを知る。

すがたを変える水(理科)

水は温度変化によって、固体、液体、気体と姿をかえるという考えをもつ。

写真をもとに話し合おう(国語)

写真から読み取ったことを、メモを元に発表する。

クラスで話し合おう(国語)

よりよい話し合いの仕方を考える。

学級新聞を作ろう(国語)

割り付けを工夫してわかりやすい新聞を作る。

「不思議図鑑」を作ろう(国語)

図や写真などの資料を活用し、紙面を工夫して図鑑を作る。

自然愛、動植物愛護(道徳)

ごみが増えることによる動植物への被害を知り、環境やごみが増えることについての考えを深める。

しらべようけんこうなくらし

毎日を健康に過ごすための生活上のくふうや気を付けなければいけない生活習慣についての知識を得て、自らの生活に生かそうという視点を持つ。

ごみのしよりと利用・くらしと水(社会)

ごみの処理や有効利用、水の循環を学び、ごみの減量やリサイクル、節水など自分たちに協力できることに対する考えを深める。

期	前期														後期																																																																																												
	4月			5月				6月			7月				9月				10月				11月				12月			1月			2月			3月																																																																							
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																																																																			
理科	季節と生き物(春)(8)			天気と気温(6)				電池のはたらき(10)			星の明るさや色(6)				季節と生き物(夏)(5)				自由研究(3)				季節と生き物(夏のお)				わたしたちの体と運動(8)				月の動き(7)				季節と生き物(秋)(4)			わたしたちの理			ものの温度と体積(7)			もののおたまり方(8)			星の動き(5)			季節と生き物(冬)(6)			すがたをかえる水(8)			自然の中の水(6)																																																			
算数	角とその大きさ(7)			1けたでわるわり算の筆算(12)				何倍でしょう算数実験室			折れ線グラフ(6)				一億を終える数(7)				垂直平行と四角形(13)				小数(10)				自由研究(8)				式と計算の順じよ				2けたでわるわり算の筆算(12)				そろばん				面積(10)			がい数とその計算(8)			もとの数はいくつ(4)			小数×整数、小数÷整数			よみとる算数			調べ方と整理のしかた			分数(9)			変わり方(7)			直方体と立方体(12)			もうすぐ5年生(5)																																					
社会	火事からくらしを守る(2)			事故や事件からくらしを守る(2)				ごみのしよりと利用(20)							水はどこから(23)							山ろくに広がる用水、地いきの文化(13)							県のがり(9)							特色ある地いきと人々のくらし(14)							世界とつながるわたしたちの県(7)																																																																
国語	言葉と出会う春のうたくらべて発見しよう			白いぼうし(9)				心のスケッチをしよう(4)			漢字の広場(4)				花を見つける手がかり(9)				図書館へ行こう漢字辞典				見学したことを報告し				短歌の世界(4)				月のつづ漢				写真をとりに話そう(7)				漢字の広場(4)				言葉が表す感じ、言葉から受け				修飾(2)				そろ(5)			クラスで話し合おう(10)			学級新聞を作ろう(4)			つ(1)			漢字の広場(4)			ウミガメの命をつなぐ(1)			不思議図かんを作ろう(4)			漢字の広場(4)			ごんぎつね 読書発表会をしよう(1)			故事成語(4)			物語を書こう(6)			詩を楽しもう(2)			漢字の広場(4)			「便利」について考えよう(7)			ポスターを使って発表しよう			漢字の広場(6)			心の動きがわかるよう			木童うるし(9)			これまでこれから		
総合	チャレンジ～花いっぱい笑顔いっぱい～ (55) 第一次「オープンガーデン」って？(10) 第二次 秋の「オープンガーデン」を盛り上げよう！(35) 第三次「オープンガーデン」を広げよう(10)														チャレンジ～塩づくり～ (15) 第一次「なぜ、行徳で塩を作っていたのか」(10) 第二次「塩とわたしたちのくらし」																																																																																												
図工	自分いろいろ(8)			鑑賞(1)				デッサン(2)			ギョギョ、コロコロ、たのしいなかも				鑑賞(1)				ほると出てくるしぎな花(8)				鑑賞(2)				運動会ダンス(8)				鑑賞(2)				願いの種から(8)			鑑賞(2)			夢色らんぶ(8)			鑑賞(2)																																																															
音楽	明るい歌声をひびかせよう(7)			拍の流れによってリズムを感じ取ろう(8)							せりりつのとくちょうを感じ取ろう(9)							せりりつのもちやうを感じ取ろう(9)							いろいろな音のひびきを感じ取ろう(9)							日本の音楽に親しもう(7)							曲の気分を感じ取ろう(6)																																																																				
家庭																																																																																																											
体育	機械運動④マット運動 表現運動③表現 体づくり運動② 多様な動きをつくる運動				走・跳の運動⑥ かけっこ・リレー・小型ハードル走 体づくり運動② 多様な動きをつくる運動				ゲーム⑥ ベースボール型ゲーム ティーボール 体づくり運動②				水泳 新体力テスト				器械運動③ 鉄棒運動 体づくり運動② 多様な動きをつくる運動 (長縄・短縄跳び 等)				表現運動 リズムダンス⑧				走・跳の運動⑥ 幅跳び 体づくり運動② 多様な動きをつくる運動				保健 育ちゆく体とわたし②				ゲーム⑧ ゴール型ゲーム (ポートボール) 体づくり運動②				ゲーム⑥ ゴール型ゲーム(サッカー) 体づくり運動②				走・跳の運動⑥ 高跳び 体づくり運動② 多様な動きをつくる運動																																																																		
道徳	個性伸長			家族愛				生命尊重			郷土愛				自立、思慮・節制				礼儀				明朗・誠実				愛校心			愛国心・国際理解			勤労			勤労																																																																							
	勤勉・努力			感謝・畏敬				思いやり			規則尊重・公德心				自然愛、動物愛護				信頼・友情				尊敬・感謝				自立・思慮			生命尊重			思いやり			勤勉・努力																																																																							
学活	学級開き・学級目標 係活動を考えよう			全員遊びをしよう 家庭学習を見直そう				室内遊びを工夫しよう				係の報告をしよう 1学期を振り返ろう				夏休みの出来事を話し合おう 男女仲良く遊ぼう 地震・防災について考えよう				言葉遣いを見直そう 清掃活動を見直そう				読書をしよう 忘れ物を減らす工夫を考えよう				2学期を振り返ろう				新年の抱負を考えよう				クリーン活動を広げよう				1年間を振り返ろう																																																																			
行事	始業式 入学式準備 家庭訪問			全校歩き遠足				陸上大会 新体力テスト(補助含む) オープンスクール				グリーンスクール 水道の授業 終業式				始業式 相撲大会 行徳っ子祭り				前期修了運動会 クリーンセンター見学				読書月間 オープンスクール 社会科見学				音楽集会 個人面談 終業式				始業式				オープンスクール 長なわ集会				6年生を送る会 卒業式 修了式																																																																			
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																																																																			
月	4月			5月				6月			7月				9月				10月				11月				12月			1月			2月			3月																																																																							
期	前期														後期																																																																																												

平成29年12月13日(水)
指導者 執行 稜

1 単元名 「おさかな天国～知ってぎよ、食べてぎよ、広めてぎよ～」

2 単元について

(1) 単元観

日本の魚・貝の消費量の変化をみると、1990年代までは肉類より魚・貝類が上回っていたが、2010年以降になると逆転されてしまっている。これは、食生活の変化にともない魚・貝類の消費量は減ってきたからだと考えられる。5年生では社会科の学習で「わたしたちの生活と食料生産」という単元がある。この単元を通じ、水産業に関わる人たちの大変さや新鮮で安心して食べられる水産物を供給する工夫について学んだ。しかし、実際には本学級にも魚嫌いな児童が多く、給食ではいつも残飯が出るという現状である。学習内容が実生活に結びつかず、水産業の大変さが他人事となってしまっている。このことを問題視し、①魚を食べる必要性②魚嫌いをなくすにはどうしたらよいか、という2つを学習テーマとし、本単元を設定した。

大単元を3次展開に分け、まずは魚を食べる必要性を知ること、次にその必要性を追究し体験すること、最後に自分たちの知ったことを発信・表現することで自分たちの食生活を見直したり、水産業との関わり方を再発見したりすることが本単元のねらいになる。

(2) 児童の実態 (男子17名 女子17名 計34名)

①学習材について

今回の学習材である「魚」に関して、どの程度の知識や認識があるのかについて、実態調査を行った。以下は、その結果である。

(H29.6.29 男子17名 女子17名 計34名に実施)

1. あなたは肉と魚、どちらが好きですか。	・肉 9名
	・魚 17名
	・どちらも好き 8名
	・どちらも嫌い 0名

2. 魚が好きな理由は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・お刺身が好き…13名 ・魚卵が好き…5名 ・色んな食べ方があるから…3名 ・自分で釣ったらおいしい…2名 ・肉よりやわらかい…2名
3. 魚が嫌いな理由は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・味が嫌…2名 ・骨がある…2名 ・生ものが苦手…1名 ・白身魚が嫌い…1名 ・栄養がない…1名
4. なぜ魚を食べる必要があると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養がたくさんあるから…9名 ・カルシウムがとれるから…9名 ・おいしいから…8名 ・体に良いから…4名 ・頭が良くなるから…3名 ・目が良くなるから…1名

上記の実態調査から、7割の児童が肉より魚が好き、また同じくらい好きと回答した。しかし、理由の多くはさしみや魚卵が好きだからであり、普段の給食の様子を見ると、魚が好きと回答していても魚料理を減らす児童が多い。また、魚嫌いの理由として「味が嫌(生臭い)」「骨が苦手」ということを挙げている。この課題を解決することが魚嫌いを減らすポイントだといえる。魚を食べる必要性は、まだ理由が漠然としており、食べたほうが良いのだろうということは分かっているが、そこに必然性は感じていない。学習を進める中で、魚を食べる良さに気付けるよう、課外学習やゲストティーチャーを大いに活用していく。

②児童の資質・能力について

5年生になってから半年以上経ち、少しずつ高学年としての気持ちを高めつつあるところだ。次に何をすべきか、自分たちで考え行動することを意識して日々の学校生活を送っている姿が増えてきた。男女の垣根もあまり感じず、どの子とグループになっても積極的に関わりを持ち、協力して課題を解決しようと取り組む児童が多い。その一方で、自分の発言に自信がなく、授業中の挙手や発言はまだまだ少ない。

本単元の学習を始めるにあたり、児童の資質・能力について児童自身による自己評価を行った。学級の平均値は以下の通りである。(最大値4、最小値0)

課題解決力	2.7
探究する力	3.1
表現する力	2.7
かかわる力	2.8
実現する力	3.0

上記の結果から、「課題解決力」と「表現する力」の育成が課題であることが分かる。児童が自ら課題を発見し、解決する方法を見つける場と児童の自信を高められる表現の場の設定が必要だと考える。

(3) 指導観（研究の重点との関わり）

学習材と児童の実態を踏まえ、第1次では、自分たちが魚のことをより知ることをテーマとし、班ごとに学習テーマを設定し、調べ学習を行った。その中で「魚にしかない栄養素がある」「加工品が多くあり、手軽に魚を食べることができる」ということを知った。また、イオンに出向き、鮮魚売り場を見ることで消費者が魚を手に取りやすいような売り場の工夫も目の当たりにした。このような活動の中で、『魚を食べる良さをいろんな人に知ってもらいたい』『魚が苦手な子も食べられる魚料理を開発したい』という課題を見つけ、探究する力が育成された。

第2次では、①魚を食べる必要性をもっと知るためにゲストティーチャーとしてイオンの鮮魚売り場担当者と本校栄養教諭の露木先生の話聞く。魚と栄養のプロから話を聞くことで、自分たちが知らなかった工夫や努力を学ぶことをねらいとしている。②魚嫌いをなくすために加工品をアレンジしたレシピを調べ、実際に調理してみる。調理実習では鮮魚が使えないため加工品のみとなってしまうが、加工品の試食を行った際「まだ魚の匂いがする」「骨が苦手」といった課題を克服するために、どういった料理なら食べやすいかを検証していきたい。

第3次では、2つの学習テーマを発信する活動を行う。発信する相手意識を明確にし、その年代や立場に応じた発信活動を行いたい。本時では、その発信活動に向けた準備段階を展開する。その際、国語科との関連性を図り、今まで集めた資料や情報を元に意見文を作成し、伝えたい内容を明確にしてから取り組ませる。

また、研究の重点については、以下のような手立てを考えた。

①児童が本気で取り組みたくなる仕掛け作り

本単元では、2つの学習テーマを通し「自分と自分の身の回りの人の魚に対する意識を改善したい」というねらいを設け、児童もそれに向けて学習を進める。国語科や社会科で学習したことはその土地の人たちだけの話ではなく、自分たち

の生活にも大きく関わっていること実感すること、課題の設定・情報の収集・整理、分析・まとめ、表現、そこに体験的な活動を組み込むことで、学習活動を発展的に繰り返していく意欲とその楽しさを高めていきたい。

②自己の振り返りと相互交流の場の設定

単元を通し、学級内での相互交流の場を設け、自分の意見や思いを交換しやすい活動内容を多く取り入れる。調べ学習や課外活動、調理実習では、グループごとに課題を持ち、それぞれで活動を行う。中には作業を分担しなければスムーズに出来なかったり、失敗してしまったりすることもある。それらを繰り返しながら、自己の振り返りと次への課題設定、仲間と協同する楽しさを高めていきたい。

3 単元の目標

学習活動企画書 2. に記載のため省略

4 単元の評価規準

学習活動企画書 5. に記載のため省略

5 活動計画（第2次 23時間扱い／第3次 27時間扱い）

次	時配	主な学習活動(○)と内容(・)	支援(◎)と評価(☆)
2	5	○加工品アレンジレシピを調べる。 ・加工品を試食して、完成品のイメージを持つ。 ・インターネットや家族へのインタビューより、レシピを考え実際に家庭で調理してみる。	◎加工品の種類や調理の仕方について、個人のレシピから全体に広げる。 ☆必要な情報を幅広く集めることができる。≪探究する力≫
	3	○アイデアレシピプレゼン大会を行う。 ・一人ずつ考えて調理したレシピを紹介する。 ・その中で、自分たちで作ることができ、魚嫌いな子でも食べやすいレシピを選ぶ。	◎テーマからブレないように(魚嫌いな子でも食べやすい)考え、レシピを選ばせるようにする。 ☆自分の考えをはっきり伝えることができる≪表現する力≫

3 課 外	3	○イオン鮮魚売り場担当者をゲストティーチャーに迎え、鮮魚売り場の工夫を知る。	◎同じ思い(魚を食べてもらいたい)のゲストティーチャーの話聞くことで、魚を食べる必要性を高める。
	2	○本校栄養教諭・露木先生をゲストティーチャーに迎え、給食の工夫を知る。	☆「魚を食べてもらうこと」についての疑問や不思議を見つけられる。《課題発見力》 ☆分かったことや疑問に思ったことを自分なりにまとめることができる《表現する力》
	8	○アイデアレシピを作ってみよう。(計画→調理→まとめ) ・自分たちで考えたレシピでお弁当作りをする。 ・食べやすさについて話し合う。	◎調理の注意点と計画書の書き方について声をかける。 ☆友達と情報交換をする中で、自分の考えを見直したり、新しい考えを生み出したりすることができる。《関わる力》
2	○アイデアレシピを露木先生に提案してみよう。 ・給食で出せるレシピをないかブレゼンをする。	◎ゲストティーチャーと事前に打ち合わせを行い、問題点を把握しておく。 ☆自分の考えをはっきり伝えることができる《表現する力》	

3	4 / 5 (本 時)	○ゲストティーチャーの話から分かったことを振り返るとともに、「伝えたいこと」は何か班で話し合う。 ・伝える相手や発信方法について話し合う。	◎イオンや給食での写真を用意し、今までの活動が振り返られるようにする。 ◎伝えたい相手ごとにグループを分け、方向性を明確にする。 ☆自分の知った情報を相手に伝える方法を考えることができる。《表現する力》
		○これまでやってきた内容を整理し、発信活動の準備をする。	◎第三次につなげるため、テーマをもう一度確認し、ほかに必要な情報がないか助言する。 ☆新たな疑問や不思議を見つけられることができる《課題発見力》

6 本時の指導(4/22) 45分

(1) 目標

○自分の知った情報を相手に伝える方法を考えることができる。

《表現する力》

(2) 展開

時配	学習活動と内容	支援(◎)と評価(☆)
3	○前時までを振り返る。 ・調べ学習で分かったこと、ゲストティーチャーから聞いた話を想起させる。	◎掲示資料をもとに、これまでの内容を思い出せるようにする。
2	○本時の学習のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">🎓 さかなくんジュニアとして、魚を食べる大切さを伝えよう。</div>	
3	○活動の流れを確認する。 ・同じ「目的」のグループ同士で発信活動の内容を発表し合う。 ・「誰に」「なにを」「どのように」	◎活動場所や注意事項など、大きな流れを確認する。

20	<p>伝えたいかが明確になっているか、内容に間違いがないか確認し、必要があれば質疑応答する。</p> <p>○アドバイス用紙に良いところ、改善点などがあれば記入し、相手のグループに渡す。</p> <p>○目的別グループで発信内容を発表し、質疑応答・助言を行う。</p> <p>・グループ内で解決しないことは、学級全体に呼びかける。</p>	<p>◎分りにくいところや不明確なところを質問できるように声をかける。</p> <p>☆自分の知った情報を相手に伝える方法を考えることができる。</p> <p>《表現する力》</p> <p>☆友だちと情報交換をする中で、自分の考えを見直したり、新しい考えを生み出したりすることができる。《関わる力》</p>
12	<p>○グループに分かれて、発信活動の準備をする。</p>	<p>◎情報交換し合ったことを参考に、内容を変えたり、手段を変えたりしても良いことを伝える。</p>
5	<p>○本時の振り返りを行う。</p> <p>・次時に向けて、用意しておく資料や情報などを確認する。</p>	<p>◎スキルチェックシートを使い、振り返りをさせる。</p>

(3) 板書計画

🎓 さかなくんジュニアとして、魚を食べる大切さを伝えよう。

グループごとのポスター		

<学習の流れ>

第5学年 学習活動企画書

1. 単元名 「発見！発信！行徳っ子食堂～おさかな天国、知ってぎょ・食べてぎょ・広めてぎょ～」

指導者：眞下諒 執行稜

2. 単元の目標

○魚が嫌いの児童が多いことを課題と捉え、魚の栄養や調理法について調べたり、鮮魚店や漁業従事者など専門家の話を聞いたり、実際に自分たちが調理活動を行い試食したりする中で、自分の食生活と海とのつながり、社会経済と海とのつながりについて考える。

3. 児童の実態

6学級、210名の個性豊かな子ども達である。5年生へ上がる時に学級編成があり、緊張しながらも新しい学級で自分を出し、新しい人間関係を作っていくことができている。

先を見据えた行動

何事にも興味関心を持ち、意欲的に取り組むことができるが、「先を見据えた行動」を考える力が乏しい。次何をすべきか、そのためには何を準備すればよいかなど自分で考え行動することが課題であると感じる。

魚を食べよう

アンケート結果から魚より肉のほうが好きだと答える子が多い。給食でも魚を残す児童が多く、魚を食べる必要性を知らない。

4. 期待する児童像【学年目標】

「CHANGE」

高学年として自分で考え、
自覚をもって全力で行動しよう！

言われて動くのではなく、自分たちで声を掛け合い、考えて行動する。

5. 教師の思いや願い・手立て

■ 考えることが苦手で、答えが分からないと諦めてしまう子が多い。学習の中で出た「はてな」を、本や資料を利用して調べたり、自分の言葉でまとめ上げたりする活動を繰り返すことで、「分からないことが分かる楽しさ」を知り、「はてな」に対し自発的に取り組めるようにしたい。

■ 「はてな」を探究するためのいろいろな手立てを知ってほしい。そのために、解決するための計画をたて、どんな方法で取り組みたいかを考え、探究活動に取り組めるようにしたい。

■ 表現方法を工夫し、探究したことを伝えることができるようになってほしい。そのために絵やイラストを活用するとともに、見やすいレイアウトの構成や調べた目的が順序立てて説明できるような文章作成を国語科と連携して取り組んでいく。



ここでつきたい力

課題発見力

体験や経験の中から、課題や疑問を見つけ、解決するために計画をたてることができる。

探究する力

疑問を解決するためには、どんな方法で取り組みればよいか、考え、計画をたてることができる。

表現する力

探究したことを分かりやすく説明したり、まとめたりするため、効果的な表現方法を選び、伝えることができる。

かかわる力

友達と情報交かんや討論などをする中で、自分の考えを見直したり、新しい考えを生み出したりすることができる。

実現する力

協同的な学びを通して、友だちと学ぶことの良さを感じ、友だちの存在価値に気付いたり、自分自身の存在価値を感じたりすることができる。

6. 学習活動計画（全70時間）

「身近な食」

第一次

「知ってぎょ！！～自分たちと魚の関わりを知ろう～」(20時間)

- 魚のなかが好き？なかがきらい？
- なぜ魚を食べる必要があるの？ 魚についてもっと知ろう
- ・インターネットや本で調べてみよう ・おいしい魚料理を調べてみよう
- ・魚の栄養について調べてみよう
- いろいろな魚料理を調べよう
- ・自分たちが食べている魚料理ってなかがある？

第二次

「食べてぎょ！！～食べやすい工夫を考えよう～」(23時間)

- たくさんの人に食べてもらうのに、どのような工夫がされているのだろう。
- ・栄養士さんに聞いてみよう ・イオンで魚の売り方について聞いてみよう
- 食べやすい工夫を考えよう。
- ・加工品や缶詰はどのように作っているのだろう ・実際に食べてみよう
- 加工品からオリジナルレシピを作ってみよう
- ・苦手（味、匂い、骨）を取り除くにはどうすればいいのかな

第三次

「広めてぎょ！！～さかなくんジュニアとして、魚の良さを広めよう～」(27時間)

- 魚料理を考えよう
- ・給食室とコラボして、全校のみんなに食べてもらおう（栄養士チームとコラボ企画）
- ・レシピを配って広めよう
- ・おさかなマイスターから上手な魚の食べ方について学ぼう
- 魚を食べる必要性、大切さをいろんな人に広めよう
- 1年間の自分の成長を振り返ろう

国語科や他教科等との関連

- わが町ベストスリー（国語）**
身近な食材について調べ、理解する。
- 意見文を書こう（国語）**
資料を読み比べ根拠を明確にして、自分の考えを主張する。
- 「意見こうかん会」をしよう（国語）**
食について調べたことをもとに自分の立場を決め、意見を交換する。
- くらしを支える食料生産（社会）**
農業や水産業などの食料生産について理解を深めるとともに、食料自給率の問題や地産地消に向けた取り組みについて知る。
- 食べて元気に（家庭科）**
5大栄養素の働きを理解し、栄養バランスのとれた食事はどんなものなのかを正しく認識する。
- クラスで活動報告しよう（国語）**
これまで各学級で調べたことについて活動報告会を行うため、報告文集にまとめる。

平成29年度 第5学年 年間指導計画 【実践プラン】

担任: 田村優実佳 漆山恵 眞下諒 執行稜 平方信行 本田明子

期	前期																		後期																													
	4月			5月				6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40								
理科	天気の変化(10)			植物の発芽(8)				植物の成長(5)			メダカのとんじょう(10)			人のたんじょう(6)			自由研究(3)			植物の実や種子のでき方(9)			台風と天気の変化(4)			流れる水のはたらき(14)			電磁石の性質(12)			もののとけ方(13)			ふりこの動き(10)													
算数	整数と小数(4)		体積(10)		小数×小数(12)		小数÷小数(11)		式と計算(4)		同じものに目をつけて(2)		合同な図形(10)		自由研究		整数(11)		分数(10)		面積(13)		人文字(2)		平均とその利用(8)		単位数あたりの大きさ(4)		分数②(8)		見積もりを使って(4)		割合(14)		円と正多角形(9)		角柱と円柱(7)		替わり方(2)		もうすぐ6年生(4)							
社会	世界の中の国土(4)		国土の地形の特色(3)		低い土地のくらし(3)		国土の気候の特色(3)		あたたかい土地のくらし(3)		くらしを支える食料生産		米づくりのさかんな地域(9)		水産業のさかんな地域(7)		これからの食料生産とわたしたち		工業生産と工業地域(3)		自動車をつくる工業(8)		工業生産を支える(5)		これからの工業生産とわたしたち		情報産業とわたしたちのくらし(6)		社会を変える情報(5)		情報を生かすわたしたち(4)		わたしたちの生活と森林(6)		環境を守るわたしたち(5)		自然災害を防ぐ(5)											
国語	言葉で伝えよう「要約伝言ゲーム」「情報ノート」		いつか、大切なところ(8)		しょうかいポスターを		漢文に親しむかなづかい		「わが町ベスト・スリー」を決めよう(6)		言葉と事実(8)		新聞を読もう(3)		複合語		話し言葉と書き		「意見こうかん会」をしよう(7)		大造じいさんとがん(8)		和語漢語外来語		詩を味わおう(2)		敬語(2)		世界遺産白神山地からの提		古典を読む(4)		俳句・短歌を作ろう(4)		雪わたり(5)「図書すいせん会」を開く		折句を作ろう(1)		まんがの方法(5)		言葉の種類(2)		ひみつを調べて発表しよう(8)		クラスで活動報告をしよう(6)		みずさがしの旅(5)	
総合	発見！発信！行徳っ子食堂(70) 1・2組 第一次「千葉県は食の宝庫！千葉県の「食」にふれてみよう！」(12) 第二次「千葉県ってすごい！！千産千消の魅力を探ろう！」(30) 第三次「千産千消のよさを発信しよう！」(28) 3・4組 第一次「知ってぎょ！！～自分たちと魚の関わりを知ろう～」(20) 第二次「食べてぎょ！！～食べやすい工夫を考えよう～」(23) 第三次「広めてぎょ！！～さかなくんジュニアとして、魚の良さを広めよう～」(27) 5・6組 第一次「理想の自分へ！心も体も頭も元気な姿を探ろう！」(15) 第二次「発見、大切なもの！食の大切さを追求しよう！」(30) 第三次「発信、大切なこと！食の大切さを伝えよう！」(25)																																															
図工	春を感じて(4)		クロッカー【靴】(2)		自画像(4)		めざせ、ローラーの達人(4)		糸のこドライブ(6)		鑑賞(2)		見える見える！遠くに、近くに(2)		ぼくらの校舎(6)		だんボールで、試して、つくて(4)		流れる風をつかまえて(2)		クルリンげきじょう(6)		鑑賞(2)		木版画(6)		伝えない気持ちを持つ(4)																					
音楽	ゆたかな歌声をひびかせよう(3)		いろいろな音のひびきを味わおう(13)				和音の美しさを味わおう(4)		曲想を味わおう(8)		詩と音楽を味わおう(4)		日本と世界の音楽に親しもう(5)		心をこめて表現しよう(4)																																	
家庭	わたしと家族の生活(1)		はじめてみよう クッキング(8)		はじめてみようソーイング(8)		かたづけよう身の回りの物(4)		やってみよう家庭の仕		わくわくミン(11)		食べて元気に(11)		じょうずに使おうお金と物(4)		寒い季節を快適に(6)		家族とほっとタイム(3)																													
体育	体づくり運動(4)		陸上運動【短距離走・リレー】(4)		新体力テスト(6)		体づくり運動(2)		水泳クロール・平泳ぎ(10)		陸上運動		保健心の健康(1)		ボール運動ゴール型【 】(5)		器械運動		陸上運動		保健けがの防止(3)		スキー(5)		ボール運動		保健けがの防止(2)																					
道徳	1-(1)望ましい生活習慣 思慮・節制		1-(2)理想、勇気、努力		1-(3)自由、自律と責任		2-(1)礼儀		1-(4)明朗・誠実		3-(2)自然愛と環境保全		1-(6)個性の伸長		3-(3)感動と畏敬		2-(4)寛容・謙虚		1-(5)真理の尊重と創意工夫		2-(5)尊敬・感謝		2-(2)思いやり		4-(3)集団への参加と責任		4-(1)公德心、規則の尊重、権利・義務		4-(5)家族愛		2-(3)信頼・友情と男女の協力		4-(7)郷土愛・愛国心		3-(1)生命尊重		4-(8)国際理解・親善と人類愛		4-(2)公正・公平、正義		4-(6)愛校心		4-(4)勤労・社会奉仕					
学活	学級開き・学級目標 係活動を考えよう		学級マークを作ろう 全員遊びをしよう 家庭学習を見直そう		室内遊びを工夫しよう 係新聞を作って活動を広めよう		係の報告をしよう 朝食を食べる意味を考えよう		夏休みの出来事を話し合おう 地震・防災について考えよう		行徳っ子祭りに参加しよう 言葉遣いを見直そう 男女仲良く遊ぼう		スポーツ大会をしよう 忘れ物を減らす工夫を考えよう		2学期を振り返ろう お小遣いの使い方を考えよう		新年の抱負を考えよう ホワイトスクールの過ごし方を考えよう		6年生を送る会を成功させよう 栄養を考えて健康な体を作		バトンタッチ集会をしよう 1年間を振り返ろう																											
行事	始業式 入学式準備		全校歩き遠足				陸上大会 新体力テスト(補助含む) オープンスクール		音楽集会 終業式 水泳大会		始業式 相撲大会 行徳っ子祭り		前期修了運動会		読書月間 オープンスクール		芸術鑑賞会 終業式		始業式		長なわ集会 ホワイトスクール		6年生を送る会 卒業式 修了式																									

第6学年4組 総合的な学習の時間 学習指導案

平成 29 年 1 月 28 日 (火)
指導者 石毛 健太

1 単元名 「行徳っ子守り隊 Jr.～家族や仲間を守り隊～」

2 単元について

(1) 単元観

我が国は世界の地震の約 1 割が起こる地震大国である。阪神淡路大震災や東日本大震災をはじめとして、これまでに多くの地震にみまわれてきた。その流れを受けて、今年も第 6 学年の総合的な学習の時間で減災教育について取り上げている。

これまでに児童は、地震について過去のデータやメカニズム、そして今後 30 年間のうちに千葉県で震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率が 85% であることなど、たくさんの事実を知った。そして、「自分が生き残るためにはどうすればよいのか」という大きな課題を決めた。地震災害について自分の課題を設定し、映像や図書資料、インターネットにゲストティーチャーの話、そなエリアの見学などで自分の課題について調べ、グループでのまとめまでの学習を行っている。だが、まとめた知識が実際に自分たちでも実践できるものなのか、調べたことが自分たちでも使える知恵であるのか等、確かめてはいない。

(2) 児童の実態【男子 14 名 女子 17 名 計 31 名】

	内容
1 グループ	津波の高さ、威力
2 グループ	津波の速さ
3 グループ	津波の起こるメカニズム
4 グループ	津波の被害例、被災者の話
5 グループ	避難の仕方
6 グループ	千葉県で起きた津波(旭市)
7 グループ	市川市の津波対策

これまでの学習を振り返った時に、児童からは津波の怖さや津波への対策について他学年に知らせたいという思いがでてきた。しかし児童一人一人の実態を考

えた時に、個人で調べ、発表することが難しい児童がいることからグループに分け発表を行うこととした。また、児童はこれまで教師の力を借りず自分たちの力だけで一から何かを作りあげるといった経験をあまりしていない。そこで今回の学習では減災についての知識を深めるだけでなく、協力して一つのものをつくり上げる楽しさや喜びも味あわせたいと考えている。

(3) 指導観

これからの学習では、津波について今まで調べたことの中から特に知らせたいことを決め、グループごとに体験活動を計画していく。発表方法を決める場面では、これまでの 6 年間の振り返り、どのような方法で発表するのが効果的なかを考えさせたい。体験活動をする場面では、教師が主導するのではなく、児童が中心となって学習を進めていきたい。そしてゴールとして調べてきたことを体験活動にし、さらに他学年に伝えることで知識をより確かなものにしていきたい。このような学びが、自然災害時や日常生活の中で起こるいざという時に、自分で考え、主体性をもって行動できる姿につながっていくと考える。

学習のゴールとしては、この体験後に津波の他にも減災について学んできたことも含めパンフレット作りを行う。また、国語科の研究で進めている意見文の学習も取り入れ、パンフレットのあとがきとする。家庭へ減災についての意見を一人ひとりが書くことで、家庭の減災についての取り組み方が積極的になったり協力も得やすくなったりするのではないかと期待している。児童と家族が共に減災について知識を学び深め合っていくことで、自助だけでなく共助になっていき、助け合える地域づくりにもつながっていくのではないだろうか。

3 単元の目標

学習活動企画書 . 2 に記載のため省略

4 単元の評価規準

学習活動企画書 . 5 に記載のため省略

5 活動計画(第 2 次 28 時間扱い)

活動計画

次	時配	主な活動(○)と児童の反応、思考(●)
2	1	○グループ発表の感想を話し合う。 ●どの班も詳しく調べていたね。 ●知らないことや、もっと詳しく知りたいことが出てきたよ。 ●実物を使うとよくわかるね。

	<ul style="list-style-type: none"> 津波の怖さがよくわかったね。 津波から命を守る方法を他の人にも伝えたいな。
4	<p>○津波の危険性や避難の仕方、津波への対策など沿岸防災について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去に千葉県に津波が来たことはあるかな？ 津波の速さはどのくらいなのだろう。 避難の仕方はどうしたらいいのかな？ 津波が起こるメカニズムはどうなっているのだろう。 <p>○津波について調べたことを、他学年にも伝えよう。</p>
16 (本時)	<p>○沿岸防災体験活動を計画し、実行しよう。</p> <p>○グループごとに体験したいことを考え、計画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波の高さはどうやって伝えたらいいんだろう。 津波の速さを実際に体験してほしいな。 避難の仕方を何かにまとめられないかな。 メカニズムをわかりやすく伝えたいな。 他者に伝える方法にはどんなものがあるのだろう。 <p>○他学年に、自分たちで計画した体験を自分たち主導で実行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ内での役割分担を決めて練習しよう。 体験すると、調べただけよりもよくわかるね。
2	<p>○津波の他にも学習したことを交え、どのようなことを家族等に伝えればよいのかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災グッズについても知らせたいな。 災害の時に便利なものを教えてあげたい。 〇〇は作るのが大変だから、備蓄しておくべきだね。 もう少し、足りないことを調べて付け足そう。
5	<p>○家族に72時間生き残るために必要なことを、パンフレットにまとめて伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の家は〇〇が足りないから、備えてもらいたい。 家族みんなで防災袋の中身を確認しよう。

6 本時の指導 (8/28)

(1) 目標

- 自分たちが伝えたいことを効果的に発表するための表現方法を選ぶことができる。

《表現する力》

(2) 展開

時配	主な活動 (○) と内容 (・)	支援 (◎) と評価 (☆)
3	<p>○本時のめあての確認をする。</p> <p>◎ 調べてきたことを他学年に伝えるには、どのような方法が適しているのだろうか。</p>	
7	<p>○これまでに経験してきた表現方法、経験はしていないが活かそうな表現方法を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスター パンフレット 劇 歌 絵、模型 本 紙芝居 映像 呼びかけ それぞれの表現方法の良さ 	◎それぞれの表現方法の良さについて再度確認をすることで、話し合いの視点が自分のやりたい方法ではなく、効果的に発表できる方法になるようにする。
5	<p>○二次元表を使って自分たちの発表に適した表現方法について話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次元表の使い方について説明をする。 	◎二次元表の書き方や見方を確認し、正しく二次元表を使うことができるようにする。
10	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの二次元表に、それぞれの方法のメリット、デメリットを記入する。 	◎メリット、デメリットを考える上で、他学年に伝えること、大人数に伝えること、業間休み、昼休みに行くことを基準とする。
15	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに集まり、それぞれが考えた意見について話し合う。 	◎ワークシートにまずは一人で意見を記入することで、話し合いの時に活発に意見交換ができるようにする。 ◎話し合いが円滑に進むよう、事前に司会者となる児童を決めておく。

3	○今日の話し合いの振り返りをする。	<p>◎デメリットとして挙げられたことも、グループでの話し合いの中で、工夫することでメリットに変えることはできないか考えさせる。</p> <p>☆調べてきたことを発表するための効果的な表現方法を選ぶことができる。《表現する力》</p> <p>◎二次元表に書いた内容をもとに効果的な発表方法について考える。</p>
2	○今日の学習から次回のめあてを考える。	◎次回への学習の見通しを持たせる。

二次元表

	メリット	←	デメリット
ポスター			
パンフレット			
劇			

(3) 板書計画

<p>◎調べてきたことを他学年に伝えるには、どんな方法が適しているのだろうか。</p>	<p>二次元表の使い方</p>				
<p>これまでに経験したことのある表現方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター ・ 	<p>それぞれのグループがまとめた二次元表</p>				
<p>経験したことはないが活かせるような方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>				

1、「行徳っ子守り隊 Jr. ～減らそう災害～」

2、単元の目標

○本校が海拔0.9mに位置することや過去に地域が津波（大潮）によって大きな被害を受けた歴史的事実から、地震や津波から自分の命を守るために必要な知識や知恵、技能を身に付けるため、様々な視点から地震や津波について調べ、自分や地域の未来と海のつながりについて考える。

3、児童の実態

感じたこと・考えたことをすぐに行動できる人を目指して

男子67名、女子82名・5学級の学年である。6年生となり、最高学年としての自覚をもち、一年生との交流を通して下級生のお手本となりたいと考えている児童が増えてきた。また、行事や普段の学校生活では、ルールやきまり、礼儀を重んじる意識が高まってきて、挨拶や話を聞く姿勢も6年生らしくなってきた。

一方で、自分たちで考え、行動してみようという意欲が低いことに大きな課題を感じる。言われたことはしっかりと守り、確実に行う真面目さはあるが、自ら先を見通して行動しようという意識が低いという実態があった。その中で、運動会や市内音楽会などの行事を乗り越えることで自ら行動に移そうという姿が見られるようになった。今後の課題としては、自ら改善策を考えたり、自ら行動しようという姿が挙げられる。

自力で未来を切り拓くことができる人を目指して

本学年の児童は、入学前に東日本大震災を経験している。まだ就学前だったこともあり、その記憶はわずかで、漠然と「怖かった」という気持ちが残っているだけのようなだった。第一次開始時では他人事だった災害に対する意識も、震災の体験談やそなエリアなどの見学を通して着実に変化してきている。また、ゲストティーチャーの話を聞いたことでより身近な問題だという課題意識が持てるようになった。第二次では、自分たちで体験活動を計画したり、家族やまわりの人に伝えることで自分の知識をより確かなものにしていきたい。

4、期待する児童像【学年目標】

Plus 1

・自ら考え、自分のためになる力をひとつでも多く身に付けられる子

5、教師の思いや願い・手立て

- 命は人任せにするものではなく自分自身で責任を持つものである。災害が起こった時、誰かの行動を見て動き始めれば、自分の命を失うかもしれない。今の本学年の児童では、そうした時、自ら決断を下す勇気が持てないだろう。予想される大震災に備え、自分一人でも命を守れるような自信をもてるよう、防災・減災の知識を身に付けてほしいと思う。そのために、体験的な学習を多く取り入れ、実際に災害を想定した避難行動をとってみることで、知識を確かな知恵とできるよう、学習計画を考えたい。
- 災害の場面では、自分本位だけでは解決が困難なこともある。仲間と協同的に学ぶ中で、協力することの大切さを感じてほしい。また、小学校最後の1年間、共に過ごしてきた仲間149名全員と関わりを持てるよう、学級の枠を超えたグループ学習を取り入れ、コミュニケーション力を高めていきたい。



ここでつきたい力

課題発見力

体験や経験の中から、課題や疑問を見つけることができる。

探究する力

様々な手段で情報を集めたり、その情報を効率よく整理したりして、探究することについて深めることができる。

表現する力

探究したことを分かりやすく説明したり、まとめるため、効果的な表現方法を選び、伝えることができる。

実現する力

課題の解決に向けて学習計画を立て、自分の行動について責任感をもち意思決定することができる。

かかわる力

身の周りの人に進んで関わり、相手の立場や気持ちを考えて協同して課題を解決することができる。

6、第6学年 これまでの歩みと単元活動計画(45時間)

第一次 過去から学ぶ PLUS1

「命の守り方を考えよう」

(17時間)

- 阪神淡路大震災の映像資料を視聴し、大地震の恐ろしさを知る。
- 災害に関する資料をもとに「自分だったらどうするか」というテーマで考える。
- これまでの学習をふまえ、これから取り組むべき課題を設定する。
- 防災課の方に話を聞き、地域の減災対策について知る。
- 「そなエリア」を見学し、大地震の際に起こり得る危険や困難、大地震が発生した場合の身の守り方などを学ぶ。
- 調べたことについて様々な方法で発表する。

第二次 命を守る PLUS1

「家族や仲間を守り隊！」

(28時間)

- 大地震が起きた時の津波の危険を考えよう。
- 命を守るPLUS1（学んだことを行動にうつしてみよう。）
 - ・自分の家の減災について調べたこと、学んだことをもとに防災活動体験の計画を立てる。
 - ・防災活動体験（消火訓練、救助法、寝床づくり、避難所体験、防災食、津波について）
- これまでの学習で学んだことを生かし、ガイドブックやパンフレット、新聞などにまとめ、他学年や家族に知らせ、防災・減災意識を高める啓発活動を行う。

国語科や他教科との関連

- 考えや意見をノートにまとめよう（国語）
 - 自分の考えや意見をノートにまとめる方法を知り、防災・減災についての自分の意見をまとめる手立ての一つとする。
- グループで話し合おう（国語）
 - 考えを一つにまとめるには、相手の意見に関連付けて発言したり、時には相手の意見を受け止めたりしながら、目的から逸れないよう、納得するような結論を導くことが大切だと知る。
- 土地のつくりと変化（理科）
 - 土地の変化と地震の関係を知り、地震に対する知識を深める。
- パネルディスカッションをしよう（国語）
 - 「安心・安全なまち」というテーマでパネルディスカッションを行い、大震災への備えについて、一人一人が考えをもつ。
- 意見文を書こう（国語）
 - 防災・減災について学んだことや、周囲の人に呼びかけたいことを意見文にまとめる。
- 震災復興の願いを実現する政治（社会）

期	前期														後期																																																																																							
	4月			5月				6月				7月			9月				10月			11月			12月			1月			2月			3月																																																																				
月																																																																																																						
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																																																														
理科	わたしたちの生活と環境 (8)			植物の成長と日光のかかり (5)				土地のつくりと変化 (1)				植物の成長と水のかかり (5)			生物どうしのかかり (5)				自由研究 (0)			月と太陽 (7)				水よう液の性質 (11)			体のつくりとはたらき (11)			てこのはたらき (10)			電気の性質とその利用 (10)			生物と地球環境 (8)																																																																
算数	対称な図形 (10)			文字と式 (7)				分数×分数 (13)				分数÷分数 (1)			円の面積 (6)				比とその利用 (10)			どんな計算になるのかな (1)				場合をあげて調べて (2)			自由研究 (0)				図形の拡大と縮小 (10)			算数実験室 (1)			速さ (8)			変わり方を調べて (2)			比例と反比例 (16)			立体の体積			およその形と大きさ			資料の調べ方 (8)			変わり方を調べて (9)			場合を順序よく整理して (9)			見積もりを使って (2)			みらいへのつばさ (1)			よみとる算数 (1)			割合を使って (3)			量の単位 (6)			6年生のまとめ (15)																								
社会	縄文のむらから古墳のくにへ (7)			天皇中心の国づくり (7)				貴族のくらし (3)				武士の世の中へ (5)			今に伝わる室町文化 (3)				3人の武将と天下統一			江戸幕府と政治の安定				町人の文化と新しい学問 (5)			明治の国づくりを進めた人々 (7)				世界に歩み出した日本 (6)			長く続いた戦争と人々のくらし			新しい日本、平和な日本へ (6)			(子育て支援)震災復興の願いを実現する政治(選択教材)			国の政治のしくみ (3)			わたしたちのくらしと日本国憲法			日本とつながりの深い国々			世界の未来と日本の役割 (7)																																																
国語	言葉で伝え合おう「引用して話そう」「考えや意見をノートにまとめよう」			随筆を読んで、経験をもとに				学校案内パンフレット				漢字の広場① (2)			話し合っ、考えや意見を一つ				伝えたいことをすいせん文に			漢字の広場② (2)				日本語のひびきを味わ			世代による言葉の違				感想を話し合おう			敬意を表す言い方 (2)				確かな言葉の使い手			自分のものの見方や考え方			漢字の広場③ (2)			意見を出し合おう (10)			詩を味わおう (1)			主語を整える (2)			物語の世界を想像し			1年生に向けて物語を			漢字の広場④ (1)			筆者の考えを読み、感想を書			回文を作ろう (1)			説得力のある文章を			漢字の広場⑤ (1)			大切な本を紹介しよう			興味のある人物を紹介しよう			漢字の広場⑥ (2)			日本の文化を考えよう			日本語の文字 (2)			漢字の広場⑦ (2)			国語の学習 (4)			21世紀に生きる君たちへ		
総合	単元計画作り														行徳っ子守り隊 Jr. (45) 第一次 過去から学ぶ PLUS1【震災から、命の守り方を考えよう】(1) 第二次 命を守る PLUS1【家族や仲間を守り隊!】(28) 今の自分にPLUS1(25) ~未来へのかけ橋~																																																																																							
図工	クロッキー (2)			修学旅行を楽しもう 日光彫体				浮世絵 (4)				シーサー作り (6)			風景スケッチ (4)				わがふるさと (12~14)			鑑賞 (2)				墨のうた (4)			光のマジック (6)			鑑賞 (2)			額を作ろう(彫刻) (4~6)																																																																			
音楽	ゆたかな歌声をひびかせよう (4)			いろいろな音のひびきを味わおう (9)				和音の美しさを味わおう (4)				曲想を味わおう (8)				詩と音楽を味わおう (6)				日本と世界の音楽に親しもう (3)			心をこめて表現しよう (6)																																																																															
家庭	くふうしよう朝の生活 (10)			きれいにしよう クリーン大作戦 (5)				暑い季節を快適に (8)				生活を楽しくしようソーイング (10)				くふうしよう楽しい食事 (12)			考えよう これからの生活 (9)				成長したわたしたち																																																																															
体育	体ほぐし運動 (6)			陸上運動【短距離・リレー】 (8)				新体力テスト (6)				体力を高める運動 (4)			保健病気の予防				水泳 クロール・平泳ぎ・背泳ぎ (12)			陸上運動【走り幅跳び】 (5)				病気の予防			ボール運動【ベースボール型】 (6)			機械運動			陸上運動			保健病気の予防			ボール運動【タグラグビー】 (5)			体ほぐしの運動 (3)																																																										
道徳	1-(2) 理想、勇気、努力			1-(4) 明朗、誠実				1-(2) 理想、勇気、努力				4-(8) 国際理解・親善と人類愛			1-(6) 個性の伸長				2-(4) 寛容、謙虚			1-(1) 望ましい生活習慣 思慮、節制				3-(1) 生命尊重			2-(3) 信頼・友情と男女の協力			2-(2) 思いやり			2-(1) 礼儀			2-(2) 思いやり			3-(2) 自然愛と環境保全			4-(7) 郷土愛、愛国心			4-(2) 公正・公平、正義			4-(1) 公徳心、規則の尊重、権利・義務			3-(1) 生命尊重			4-(6) 愛校心																																														
学活	学級開き・学級目標 最高学年としての目当てをもとう。学級がより			1年生と仲良くなろう。修学旅行をを成功させよう。				雨の日の過ごし方を考えよう。良く噛んで食べよう。				夏休みを充実させよう。夏バテ、熱中症に			学級をパワーアップさせよう。避難訓練の方法を知ろう。				運動会を成功させよう。けじめのある生活。自分の責任を果たそう。			卒業文集を作る計画を立てよう。大切な目の働きについて知ろう。友人関係について。計画的な読書しよう。				1年のまとめをしよう。自分の食生活を見直そう。			「卒業に向けて」の企画をしよう。新年を迎えて。			「卒業に向けて」の準備をしよう。下級生にバトンを渡そう。			今までお世話になった人物や物に感謝しよう。卒業式に向けての心構えを持とう。																																																																			
行事	始業式 入学準備			全校歩き遠足 修学旅行				陸上大会 新体力テスト(補助含む) オープンスクール				終業式 水泳大会			始業式 校外学習 相撲大会				前期修了 運動会			音楽集会、市内音楽会 読書月間 オープンスクール			芸術鑑賞会 終業式			始業式 校外学習(都内)			長なわ集会			6年生を送る会 卒業式																																																																				